

返つてきた大きな反響

六〇年安佐反對闘争とともに闘つた三池闘争の直接の原因となつた千二百名の人々に対する三井鉱山の不当な解雇を裁く裁判で、ついに十二名うち一名は停年退職)の人々について「解雇無効」の判決を勝ちとつたことは、すでに本紙及び号外で伝えたが、その中の三名の人々について、まず職三川鉱人事務長丘社宅係。場復帰を勝ち取ることができ、去る一日を期し、まさに十年ぶりに復帰することができた。復帰した人及び職場は次の通りである。

前田義則さん(坑内特種工) 宮浦鉱人事務立社宅係。
池田長吉さん(坑外機械工) 池田長吉さん(坑外機械工) 三川鉱人事務長丘社宅係。

堀 栄吉さん（保線工） 〓 港務
所人事日井社宅係。
その日に早朝から、それぞれの
社事務務所の前に多数の組合員や
家族が集まって、いよいよ職場復
帰（といっても、本来の職場に迎
えられることは困難だったが……）
し、戦列に加わってきた三人の人
に心からの祝福とげばしをおく

くわからないう、「福山晋之という人から次の便りが舞いこんだ。

『週刊朝日』で知り、働く者同志として心からおめでとうを申し上げます。

十年前の三池闘争に参加し、三井資本の悪どい、ヒレツな仕打ちに抵抗する、三池労組の正しい進み方を知っております。

今朝はいつもより元気に『炭掘る仲間』の歌を口ずさみながら、このハガキを赤いポストに投函し工場に参ります」

三人の人々の今後の健闘を心から折っておく。

が出た」化学工業都市吉林、「農作物に有害な選鉱用水が流れ出ていた」鉄鋼都市武漢で、労働者が先頭になって公害を解決し、廃棄物を再処理・利用している実例を伝えました。

○吉林省の場合、大量の廃ガス、廃水、廃液、残りカスの「四つ」の廃棄物が市民生活をおびや

になる特殊銑鉄を回収、「鉍産
一トンの価値と鋼塊一トンの価
値がひとしくなる」事態をうみ出
しました。いつの場合でも、現場
の労働者が創意工夫の先頭に立ち
外国の技術をうのみにせず、「産
物を主に変え」、公害と原料節約
を同時に解決することが強調され
てきます。【JPS-KKNA】

前田さんら職場に帰る

三人の人々もまたなおいっそう「完全な勝利を勝ち取るまでは断じて闘う」との覚悟を固め、仲間たちのほげまじにこたえた。

こんどの職場で働のもつ意義は大きく、このことへのよきこびがさっそく反響となって返ってきた。このほげまじの人か、その住所や職場が明記されていずまったす。

やがてやって来る歴史は、三池労組が正しく闘ったと示してくれらる。その時代が必ず来ることを信じております。

池田、前田、堀さん、あとひと思だ、頑張ってくれ。

私も、政府の石炭政策のため閉山させられた柞島のカマ男としていまは鉱員から工員になつていま

廢物を宝に變へる
 公衆労働者
 中国
 「はその防止のために各地の工場廢棄物の回収利用に成功した労働者の經驗をしきりに紹介しています。九月十二日付けの同紙は、工場廢棄物で「空氣、河川が汚染され、耕地が占領され、人民の生活に甚影響を及ぼす」とある。

全鋁 三煉勞組

施設の抜本的改善を

「予算がない」は許されぬ

全鉾三池製煉所労組（略称「三煉労組」）は去る八日会社（三池製煉所。所長―瀧浅修治）に対し、「排ガス・粉じん防止の設備、施設の抜本的改善をはかれ」など、公害防止に関する十項目の要求を提出した。

この要求は、現在同製煉所が大気・川海へ廃棄しているカドミウムが恐るべき汚染問題をひき起こしているとき当然なことであるとはいえ、大牟田における労働者の公害闘争を具体的に前進させたわけで、会社の態度が注目されている。

要求十項目

このほど三煉労組が会社に出した要求は、次の通りである。

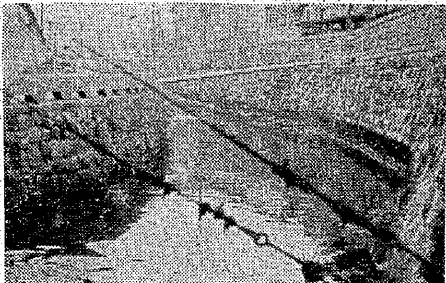
一、全職場の排ガス・粉じん防
止の設備、施設の抜本的改善
をはかれ。

二、全従業員、ならびに退職・転出者の体質汚染度を調査するため、権威ある機関を通じて検診を実施せよ。

三、全職場の浮遊物（ガス・粉じん・重金属）の質量、及び汚染度の測定を実施せよ。

四、浮遊物の測定個所については、労働組合と協議の上決定せよ。

五、浮遊物の測定結果は、労働



組合に提出すると同時に、職場揭示板で公表せよ。

六、検診、及び測定の結果、異常が明らかになったものについては協議する。

工場と工場の間を流れる汚れくさつた大牟田川

七、従業者の健康と生命保持のために、自動監視測定装置を取りつけ、許容量以下の環境保持を期せ。

八、公害対策のため、所長直轄の専門職を設置せよ。

九、環境測定、及び検診は定例的に実施せよ。

十、酸処理職場には耐酸、舗装せよ。

三煉労組は右の要求を提出するのに際し、「何といつても、公害の患にまみれて働いている労働者こそ、公害の最大の被害者である。会社はいま、企業増大と利潤追

求のための人べらし合理化には、
ばく大な資金を投入しているが、
労働者の環境改善要求には「予算
がない」の一点張りである。

私たちは今日まで、自からの健
康と生命を守るために、また企業
の発展を思えばこそ保安優先を主
張し続け、環境改善の抜本的対策
を行なうよう具言してきた。しか
し会社は、労働組合の最近の無抵
抗の上にあぐらをかき、生産優
先・利潤追求にのみ力をいれ、そ
のため今日公害が社会問題にまで
発展したのである」

なお同労組は「農漁民の補償に
対しては、誠意をもって解決する
よう」合せて申し入れている。

大分もろたるなア

去る日、鯉魚浴場で、会社の保
安サボで切斷した私の左腕を見て
ある人いわく「痛かったろう。
ばつてんだ分もろたるなア」。

金？ 金？——今もってその言
葉が、私の頭からはなれない。

(三川指導部九分会新聞の「ば
ぐるま」から)

チツソ 新たな攻撃へ

石油化学へ転換目指す

新日窒労働組合は、去る三十六年の安定賃金反対闘争、その中で受けた組織分裂以来、うち続く資本の合理化攻撃を闘い続けてきたが、いままた「石油化学」への原料転換をデモにした、首切りをふくむ新たな合理化攻撃に対し、重大決意をもつて闘いをすすめている。

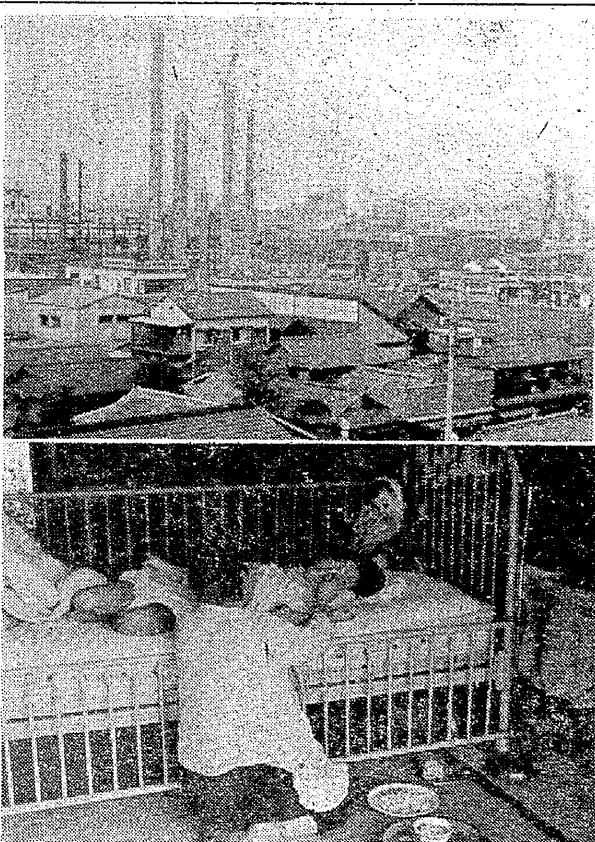
こんどの合理化の特徴は、チツソ水俣工場における塩化ビニール工場にもつともよく現われている。同工場はこれまで同生産を、アセチレン法によって、カーバイドからアセチレンガスを取り出し、さらにそれから塩化ビニール

て、それでモノマーをつくり換へて、ビニールを生産するオキシクロクネーション法によることになった。この方法はなんと、四十五人

○人民中國

でも公書問題が起つており、

大牟田市民・労働者にとつても
共通な課題である水俣労組の闘い
は、改めて重大問題をつきつけて
いるといえる。



写真上はチツソ水俣工場で、手前に石油化学塩化ビニール工場を建設中。写真下は、胎児性水俣病患者の淵上一二枝ちゃん。

廃物を宝に変える

中国 労働者が公害退治

でも公害問題が起つており、新聞「人民日報」はその防止のために各地の工場廢棄物の回収利用に成功した労働者の経験をしきりに紹介してゐる。九月

働者はこれらを回収・再処理して有用な原料をとりもどす創意工夫をこらす大衆運動を進め、ことしの一・三月に六十種以上の「四つ」の廢棄物」が利用され、八十種類の製品をつくりました。

○：武漢製鉄所の労働者は、コークス・ガスから十九種の化学工業製品をつくり、農作物に有害な揮発用水をきいてこれを清潔利用

の作業員しが必要になる。
 ツン資本はこれのようにして、石油化学への企業の転換をはかりつつ、わが国の独占資本と自民党政府がぐるむになってすすめている。経済の高度成長政策の波に乗りながら、労働者に犠牲を押しつけ、資本の強度蓄積をたくらんでいるのである。
 ツン水俣工場は、昨四十四年度はなほ二千四百三十名の労働者がいたが、来年の四十六年の人員計画によれば、九百三十名にしてしまふという。
 早くも資本の攻撃は、組織切りくずしという手段で開始された。これに対し新日窒労組は「人員確保」を可能にする「新規事業の計画」を要求し、全市民一人ひとりを対象に署名活動を展開してゐる。